

| | | | |
|--|--|---------------|-----------|
| 科目名 | | 環境疫学演習 | |
| 科目責任者 | 藤野善久 | (環境疫学 教授) | |
| 担当者 | 大河原真 | (環境疫学 助教) | |
| 開講時期: | 2～3年次 | 単位数: | 6 単位 |
| | | 時間数: | 90分× 45 回 |
| <p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>職場環境や一般環境で人が曝露する可能性のある因子および想定される健康影響のデータを用いて、データの収集、整理、分析、解釈する環境疫学方法論を演習を通して取得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 環境疫学手法の種類を論じることができる。 2) 環境疫学手法を職業病の予防に応用することができる。 3) 環境疫学手法の応用における問題点を論じることができる。 4) 環境疫学手法により得られた結果を解析することができる。 5) 環境疫学手法により得られた結果の意義を論じることができる。 6) 環境疫学手法を労働者の健康増進に応用することができる。 | | | |
| ● 評価方法 | プレゼンテーション内容40%、討議への参加度40%、課題レポート20%等で総合評価する。 | | |
| ● 参考文献 | 演習の中で必要に応じ紹介する。 | | |